

**メディア関係者様限定**

5月は水防月間 — 災害現場を見続けてきた専門家との対話から生まれた  
日本初※のフェイズフリー「床下浸水対策資材」の検証施設見学会  
「災害と水」をテーマにした報告会 を同時開催

5月28日(木)13:00～ 場所:埼玉県草加市(詳細は後述)

デンカアステック株式会社(代表取締役社長:後藤一之、本社:東京都港区)は、5月の水防月間に合わせ、防災住宅研究の第一人者であり、国内をはじめ海外の大規模災害現場も調査してきた(一社)防災住宅研究所 代表理事の児玉猛治氏との対話をきっかけに開発された、日本初※となるフェイズフリー型の床下浸水対策資材「ダムアーマー」の実証施設見学、および「災害と水」をテーマにした報告会を5月28日(木)に開催いたします。

**火災保険では守れない、想像を超える「床下浸水の現実」**

**床下浸水を防ぐことに成功した土台水切り「ダムアーマー」を公開実験**

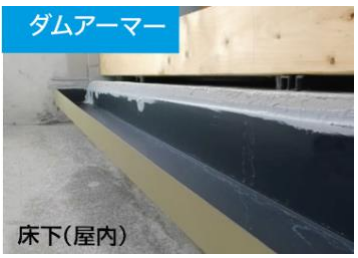
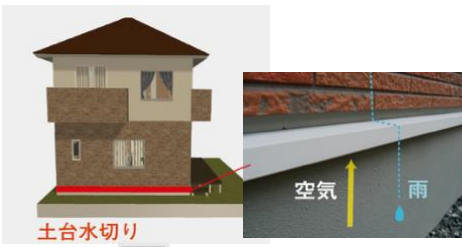
近年、梅雨や台風に加え、局地的なゲリラ豪雨の増加により、住宅の浸水被害は深刻化しています。特に床下浸水は、住宅被害の大半を占めるにもかかわらず、一定水位未満では火災保険の補償対象外となるケースも多く、生活再建の大きな負担となっています。こうした現状に対し、「大きな災害に直面すると、人は思うように動けなくなる」という数多くの現場を見てきた児玉氏との議論から生まれたのが、平常時と災害時で使い分けられない”フェイズフリー”という概念を取り入れた、新たな住宅防災へのアプローチです。本製品は、住宅の浸水経路の中でも見落とされがちな「土台水切り」に着目し、平常時は通気機能を維持しながら、浸水時には自動的に通気経路を遮断することで、床下浸水を未然に防ぐ新たな仕組みです。当社は、約70年にわたる雨どい製造の実績と雨水の集排水に関する専門技術をもとに、「災害時に人が動けない」という現実を前提とした防災のあり方を追求し、床下への浸水量が最も多いとされる土台水切りからの浸水を防ぐ特殊資材の開発に成功しました。

**通常の土台水切り**

① 外壁を伝ってきた雨水の基礎内部(床下)侵入防止  
② 基礎内部(床下)及び外壁裏面側の通気口

**課題** 水害発生時に、「土台水切り」が床下への浸水経路になってしまう

▶ 土台水切りからの水の侵入を防ぐ事が必要



**通常の土台水切り**

床下(屋内)

浸水防止機能付き土台水切りに変更すると・

屋外

基礎

床下

通気

通気

平常時は通気を確保

冠水時は通気経路を塞ぎ、浸水を防ぐ

通常の土台水切りは、外壁を伝った雨水は防げるが、冠水時には通気経路から大量の水が屋内に侵入する。

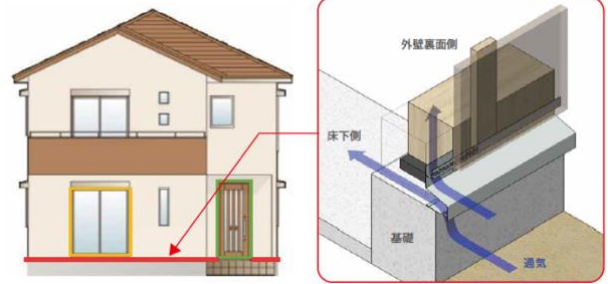
ダムアーマーは、冠水時に内部の特殊素材が水を吸って膨らむことで、通気経路を塞ぎ、屋内への水の侵入を防ぐことができる。

**【本件に関するお問い合わせ先】**

デンカアステック株式会社 〒105-8477 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル B 館 12 階  
広報担当: 橋本、小林 TEL:03-5772-1454(直通) 090-4383-7177(橋本) 080-3524-5659(小林)

## ■ 土台水切りとは？

外壁と基礎の間に設けられる水切りで、雨水が基礎内に侵入するのを防ぎます。通気工法ではこの部分から空気を取り込み、壁内の湿気を逃がす通気層の起点にもなります。住宅の外壁と基礎の境界全周に取付けられる建材で、多くの木造住宅に採用されています。ただし、日常では空気を取り組み、湿気を逃す通気口である反面、大雨により水が溜まってくると、床下に水が入ってくる経路になってしまうため、床下浸水被害の大きな原因となります。



## ■ 従来の浸水対策製品との相違点・独自性

### ○従来の浸水対策製品

- ・内水氾濫が起こった際に、水を堰き止めるための土嚢や止水版などを家屋の外側から設置する必要がある。
- ・止水板の設置後に住人が家屋内に入れなくなるリスクがある。
- ・浸水防止機能付きの玄関ドアはあったが、土台水切りから家屋内への浸水対策ができる製品がなかった。
- ・浸水対策製品を備えているにも関わらず、いざ有事になるとその使い方が分からなかったり、パニックで存在を忘れてしまい結局使えないケースが多い。
- ・浸水対策製品をどこかに保管しておく必要があるため保管場所が必要。

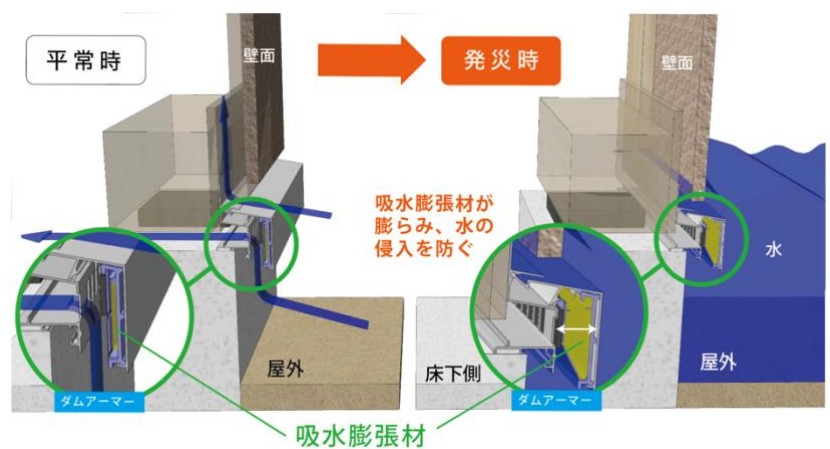


写真はイメージです

### ○当社開発の浸水対策資材・ダムアーマー

- ・一度設置すれば、平常時でも非常時でも、なにもしなくても浸水対策できる、フェーズフリー製品。
- ・浸水対策土台水切りを日本で初めて実現。
- ・ダムアーマー（浸水対策土台水切り）内の特殊な膨張資材が、内水氾濫時には水を吸収するため、自動で膨張し、床下への浸水を防ぐ。
- ・一度水に浸かっても、中の特殊膨張を交換すれば再び浸水に備えることができる。
- ・火災保険に入っているにも保険適用外になる床下浸水の高さまでをおおよそ対策することができる。
- ・埼玉県草加市内に、実験検証装置が完成。

浸水防止機能付き土台水切り  
ダムアーマー



ダムアーマー（浸水対策土台水切り）内部の特殊素材が水を吸って膨らむことで、通気経路を塞ぎ、屋内への浸水を防ぐことに成功。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

デンカアステック株式会社  
広報担当：橋本、小林

〒105-8477 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル B 館 12 階  
TEL:03-5772-1454(直通) 090-4383-7177(橋本) 080-3524-5659(小林)



## < 検証施設見学会・国内の災害状況報告会 開催概要 >

開催日時: 2026年5月28日(木)

<第一部> 13時00分 ~ (プレス受付: 12時40分~)

<第二部> 15時00分 ~ (第一部終了後、送迎車にて検証施設へ移動)

集合場所: 株式会社きたむら 会議室 埼玉県草加市栄町3丁目4-8

(東武スカイツリーライン獨協大学前駅 徒歩1分)

### <第一部>

国内における「災害と水」の報告会

場所: 株式会社きたむら 会議室

### <第二部>

浸水対策資材「ダムアーマー」検証施設の見学会

場所: 日本化学産業(株) 青柳工場敷地内

※第一部の報告会終了後に送迎車にて検証施設に移動します。

## 【登壇者プロフィール】



### 児玉猛治(こだま たけはる)氏

一般社団法人 防災住宅研究所 代表理事 / 防災アドバイザー

阪神・淡路大震災以降、国内で発生した大きな災害現場の全てに赴き、現地調査を実施。2023年に発生したトルコ南西部の巨大地震や2015年のネパール地震、2013年のオクラホマ巨大竜巻など、海外の災害現場にも現地調査に赴き、「災害と家」というテーマで調査研究を行っている。



### 大野聖治(おおの せいじ)

デンカアステック株式会社 新事業開発部 部長

旧東洋化学時代から約70年にわたり、雨樋の開発・製造に関わってきた当社の経験と、雨水の集排水に関する専門技術をもとに、防災視点での社会課題に取り組む、新事業開発を担当。浸水対策資材の他にも、日常から雨水を活用し、災害時には無電力でトイレ洗浄ができる「雨水トイレ用タンク」の実用化にも成功。

## ■ 検証施設外観

(日本化学産業株式会社 青柳工場敷地内)

第一部の「災害と水」の報告会后、送迎車にて移動いたします

車で約5分~10分くらいの場所になります。



## 【本件に関するお問い合わせ先】

デンカアステック株式会社

〒105-8477 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビル B館 12階

広報担当: 橋本、小林

TEL: 03-5772-1454(直通) 090-4383-7177(橋本) 080-3524-5659(小林)

※ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、準備の都合上、本用紙にご出欠の旨をご記入いただき、  
5月27日(水)までにメールもしくはFAXにてご連絡をお願い申し上げます。  
(メールの場合は、所属、お名前、連絡先など必要事項をお知らせください)

メールアドレス：[denka@protribe.jp](mailto:denka@protribe.jp)

FAX：03-6893-6764

【メディア関係者様限定】  
国内における「災害と水」の報告会  
日本初の「浸水対策資材」検証施設の見学会

<取材のご案内>

日時：2026年5月28日(木) 13:00~16:00 予定(プレス受付 12:40~)

場所：株式会社きたむら 会議室(第一部終了後、送迎車にて検証施設へ移動)

埼玉県草加市栄町3丁目4-8 (東武スカイツリーライン獨協大学駅 徒歩1分)

登壇者：防災住宅研究所 代表理事 / 防災アドバイザー 児玉猛治

デンカアステック株式会社 新規事業開発部 部長 大野聖治

ご出席  ご欠席

※にレ点を付けてください

貴社名	
媒体名/部署	/
ご芳名	(計 名)
TEL/FAX	/
携帯電話(当日ご連絡用)	
E-MAIL	@
撮影の有無	<input type="checkbox"/> 有 <スチール( )台、ムービーカメラ( )台> <input type="checkbox"/> 無
その他のご要望	

【本件に関するお問い合わせ先】

デンカアステック株式会社  
広報担当：橋本、小林

〒105-8477 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館12階  
TEL:03-5772-1454(直通) 090-4383-7177(橋本) 080-3524-5659(小林)